



SWIFT、より迅速な国際送金の実現に向けて、事前 検証の新機能を発表

- 日々何百万件にもものぼる SWIFT 経由の国際送金で指図の発信前に受益者の詳細を検証
- 最新機能が不要なフリクションを防ぎ、国際送金の迅速化を実現

2022 年 8 月 31 日 ブリュッセル – インスタントでフリクションのない取引を目指す SWIFT の戦略の一環として、過去の国際送金に基づき、新たな国際送金の指図発信前に潜在的な問題を検出する新機能を発表しました。

この新機能は、過去に正しく実施された送金に基づき、新しく取り組まれる送金情報の正確性を事前に検証する分析サービスです。これにより、国際送金においてありがちな送金エラーを未然に防ぎ、より効率的な送金を実現します。本機能は、過去に実施された年間 40 億の口座間で行われる 90 億件にもものぼる取引メッセージから集約・匿名化されたデータに基づき、金融機関が単独では把握しかねるレベルのインサイトを提供します。また、過去の取引実績の有無にかかわらず、送金がスムーズに実施される確証をリアルタイムで提供します。

SWIFT のチーフ・イノベーション・オフィサーであるトム・ズシャック (Thomas Zschach) は次のように述べています。「これは究極の送金事前検証機能と言えます。国際送金において、過去に口座へ正常に入金されたかどうかという記録に基づき、送金が完了できる可能性を即座に予測し、その情報を取引先に直接提示することで、エラーやタイプミスを事前に防ぐことが可能になります。この機能が可能になったのは、SWIFT が金融コミュニティの中核にあるということに加え、国際送金を国内決済と同レベルに高速かつシームレスにするというコミットメントを具現化するために尽力してきた結果と言えるでしょう。」

この新機能は、SWIFT の 送金事前検証サービスの拡張で、銀行は API を介して利用可能であり、銀行の取引先は直ちに世界中の国際送金を従来以上に迅速に送受することに寄与します。

SWIFT は、SWIFT のプラットフォームを進化させることで、銀行がインスタントでフリクションのない相互運用が可能な国際取引を実現することで、取引先に新しい価値を提供することを支援してまいります。その一環として、SWIFT Go による小口国際送金を含む分野での機能を大幅に拡大するほか、業界関係各社と提携し、金融業界における CBDC、トークン化、および AI 機能などの活用可能性について調査を行っています。

Banca Mifel 社の技術担当副部長 (Director General Adjunto de Tecnología) であるアルトゥーロ・リベラ・フェルモソ (Arturo Rivera Feroso) 氏は次のように述べています。

「SWIFT の 送金事前検証サービスにより、送金が処理される前に口座情報の問題を特定できるようになりました。この機能を活用することで、更なる自動化を妨げる諸問題を回避し、お客様によりよいサービスを提供できるようになります。このサービスが、SWIFT ネットワークのより多くの口座に拡張し、適用されることで、業界に真のコスト削減と効率の向上をもたらされるでしょう。」

オーストラリア・コモンウェルス銀行 のインターナショナル・ペイメンツ・アンド・ネットワーク・マネージメント部門のジェネラルマネージャーであるスーザン・ヤン (Susan Yang) 氏は次のように述べています。「SWIFT グローバル ペイメント イノベーション (gpi) は、国際送金におけるスピードや柔軟性向上などの課題に対処する機会を提供します。オーストラリア最大の銀行として、gpi を利用したデジタル化のロードマップを実現していくことに大きな期待感を抱いています。SWIFT の事前検証機能は、簡潔性、スピード性、セキュリティ

いを損なうことなく、高度に統合化されたデジタル・エクスペリエンスをお客様に提供するという当行の優先事項に合致した重要なサービスであると考えています。このサービスの核心は、受益者の口座が存在しており、正確であることを確認し、国際送金において発生するエラーや遅延を削減することです。」

HSBC のペイメントプロダクツ部門のディレクターであるヴィジャイ・ルーラ (Vijay Lulla) 氏は次のように述べています。「HSBC は SWIFT の 送金事前検証サービスをいち早く採用しており、取引完了前に問題を検出・未然防止することで国際送金の実務からフリクションを取り除く重要なステップとなると考えています。取引先に対し送金の遅延リスクを最小限に抑えるソリューションが提供され、より効率的かつ迅速に業務を遂行できるようになります。」

スタンダードチャータード銀行のクロスボーダー・ペイメント・プロダクツ部門の責任者であるラジェシュ・ヴェダンタム (Rajesh Vedantham) 氏は次のように述べています。「当行は、事前検証サービスにより送金におけるフリクションをなくし、不正リスクを最小限に抑えながら、エンドツーエンドでの効率を継続的に向上させることを目指しています。SWIFT の新サービスは、決済エコシステム全体で取引データの品質を向上させる上で重要な役割を果たし、お客様はシームレスな決済サービスによる真のメリットを受けることができます。」

ヤピ・クレディ銀行の国際貿易・信用業務 (Foreign Trade and Credit Operations) 部門のヴァイスプレジデントであるメフメト・アリ・メミシュ (Mehmet Ali Memiş) 氏は次のように述べています。「当行は、最新のイノベーションを実装することで、お客様の業務効率改善に日々注力しています。取引先が国際送金を行う際には、スピードが最も重要ですが、送金関連のデータが間違っていると、実際の送金取引が開始される前にブレーキがかかってしまうことがよくあります。正しいデータを活用することで、SWIFT がビジネスを推進する際の障壁を取り除き、当行お客様の業務が順調に遂行できるようになります。」

国際銀行間通信協会 (SWIFT) について

SWIFT はメンバーによって保有されたグローバルな協同組合であり、安全な金融メッセージングサービスを提供するリーディングプロバイダーです。SWIFT は金融コミュニティに対し、通信に必要なメッセージングおよびその標準化を支えるプラットフォームのほか、決済ネットワークへのアクセスやシステムの統合・連携、認証、分析、規制コンプライアンス等にかかる製品およびサービスを提供しています。

SWIFT は 200 を超える国と地域における 11,000 以上の銀行、証券会社、市場インフラ、事業法人等をつなぐ通信プラットフォーム、および各種製品・サービスを提供しています。

SWIFT 自体は資金を保有せず、顧客の口座を管理しないものの、グローバル・コミュニティのユーザーに対し、金融メッセージを確実に交換する方法を提供することで安全なコミュニケーションを可能にします。これにより、国内外の金融取引に加え、世界中の貿易と商取引を支えています。

SWIFT は信頼できるプロバイダーとして卓越した運用を絶えず追求し、コミュニティによるサイバー攻撃への対処をサポートします。またコストを軽減し、リスクを削減し、業務の非効率をなくす方法を常に模索しています。当社の製品およびサービスは、コミュニティ内のアクセスと統合、ビジネス・インテリジェンス、参照データと金融犯罪コンプライアンスのニーズをサポートします。また SWIFT は国際・地域・国内レベルで金融コミュニティを取りまとめ、市場慣行の形成やスタンダードの定義、共通の関心分野に関する議論を推進しています。

SWIFT はベルギーに本社を置き、国際的なガバナンスと監督を通じて、組合体制の中立的かつグローバルな特性を発揮します。また、グローバルなネットワークを通じて、すべての主要な金融センターで積極的に活動を展開しています。

報道関係者からのお問い合わせ先

ウェーバーシャンドウィック SWIFT 担当 トウ、末永
03-5427-7411 / 03-5427-7383
swiftjapan@webershandwick.com